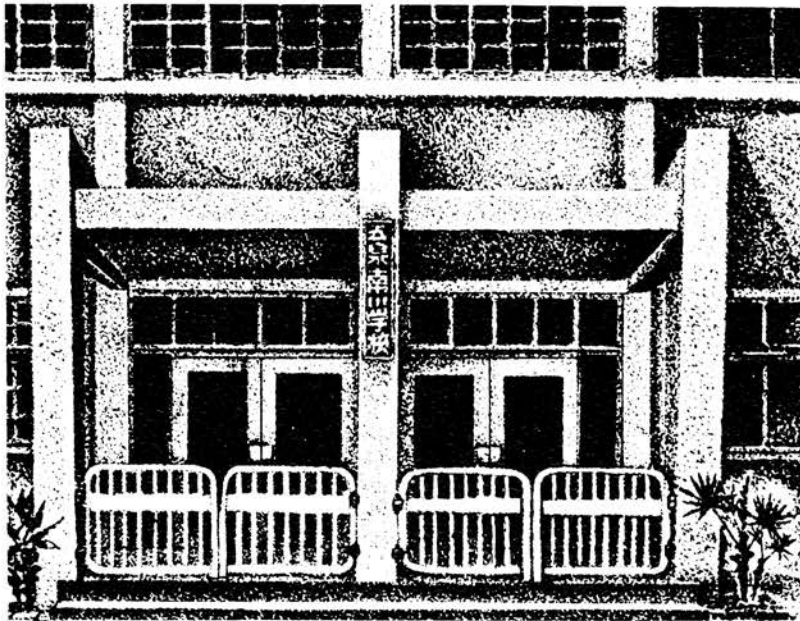


昭和58年度

# 学校要覧



五泉市立五泉南小学校



# I 学校の概要

## 1. 沿革の概要

- 昭和35. 1. 1 五泉市立五泉南小学校として独立開校  
35. 4. 14 屋内体育館竣工並に開校記念式典挙行  
35. 5. 21 五泉南小学校子ども銀行貯蓄組合設立  
35. 9. 23 屋外グラウンド竣工式並に記念大運動会開催  
36. 7. 1 五泉市理科教育センターを当校へ併置  
37. 10. 23 第一次学習指導研究会、意欲的な学習はどのように進めたらよいか  
38. 7. 1 水泳プール竣工式（同年7月16日 プール開き）  
40. 3. 1 県科学教育優秀校として表彰される。  
40. 4. 1 五泉市立町屋小学校統合（児童130名は町屋校舎で学習）  
40. 9. 27 第二次学習指導研究会 学年部経営における学習指導のあり方  
40. 12. 1 新校舎（増築第五期工事）竣工式  
43. 2. 10 県学校保健会より優良校として表彰される  
43. 10. 18 第三次 学習指導研究会 主体的な学習態度の育成をめざして  
44. 11. 7 第14回学研教育賞（家庭科）を受賞  
44. 11. 9 県PTA連絡協議会より優良PTAとして表彰  
44. 11. 県学校保健会より「よい歯の優良校」として表彰  
44. 11. 20 県「花いっぱいコンクール」で奨励賞を受ける  
45. 5. 23 創立十周年記念式典 五泉南小学校校歌制定 テレビスタジオ竣工  
45. 10. 4 「ソニー理科教育振興資金」佳作賞5万円を受賞  
46. 2. 8 新校舎3教室（増築第六期工事）竣工式  
46. 6. 25 プレハブ3教室（音楽2・図工）竣工  
46. 9. 中庭池・郷土岩石園完成（ソニー賞受賞記念）  
46. 10. 1 第四次学習指導研究会 創造力を伸ばす学習指導  
46. 11. 25 県「花いっぱいコンクール」で優良賞を受ける  
46. 11. 28 全日本よい歯の学校表彰会より「口腔衛生努力賞」を受ける。  
47. 6. 4 南小トランペット鼓笛隊春季運動会で初行進  
47. 10. 24 「ソニー理科教育振興資金」優秀賞30万円を受賞  
47. 11. 3 旧町屋小学校創立百周年記念式典・記念展覧会開催  
47. 11. 24 県「花いっぱいコンクール」最優秀賞を受ける  
科学するみどりの丘造園（ソニー賞受賞記念）  
48. 6. 27 理科教育研究会東日本大会開催「創造力の開発をめざす理科指導」  
48. 10. 25 全国花いっぱいコンクールで優良賞を受ける  
49. 1. 27 県「花いっぱいコンクール」で優良賞  
50. 7. 20 新潟県交通安全優良校として表彰（県知事賞）  
51. 4. 1 五泉市立五泉東小学校 分離独立  
51. 11. 14 県PTA連絡協議会より優良PTAとして表彰  
52. 3. 31 五泉市立五泉東小学校 完全分離  
52. 4. 1 県教委より授業研修協力校委嘱  
52. 10. 18 子ども銀行全国表彰（大蔵大臣・日銀総裁）  
52. 11. 17 社会科学習指導研修会開催（越佐社会科研究会共催）  
53. 11. 8 学習指導研究協議会開催  
55. 10. 19 創立二十周年記念式典挙行「南の丘」造成  
55. 10. 24 ソニー理科教育振興資金優秀校100万円受ける  
56. 2. 18 学習指導研究協議会開催  
56. 10. 17 子ども銀行が大蔵大臣、日銀総裁賞を受ける。  
56. 11. 8 器楽クラブ県学校器楽合奏大会で最優秀賞を受ける  
57. 11. 14 器楽クラブ県学校器楽合奏大会で県教育委員会賞を受ける  
58. 3. 12 県学校保健会より学校保健優良校として表彰される

## 2. 地域の特質と児童の実態

- 五泉市は人口約4万の小都市で、産業としては絹織物・メリヤス製品の繊維産業で栄え、周辺部では水田耕作を主体にした地域である。
- 学区は絹織物とメリヤス産業がさかんで中小工場が散在している。町部と一部周辺の農村地域を含んでいる。
- 教育に対する父兄の姿勢は非常に協力的で学校に対する要望も大であるが、家庭や社会における教育や躰への理解と実践の薄い点も見受けられるので、一層の理解・関心を深める必要がある。
- 子どもたちは素直で明朗であるが、積極性に乏しく、わばり強くどこまでもやりぬく気力に欠ける。
- 学力は、大体全国平均よりやや上の方になってき、意欲的な姿も見られるようになりつつある。
- 保健衛生的な知識や日常の道徳面については理解しているが、習慣化されていない。
- 身体発育は平均位である。運動では懸垂力・持久力の能力に欠けている。
- 近年各学年共にや・肥満傾向の児童が目だってきている。

### 3. 校 舎

普通教室	24	保健室	1
音楽室	2	校長室	1
図工室	1	教務室	1
理科室	2	休養室	1
理科準備室	1	用務員室	1
家庭科室	1	児童会室	1
図書室	1	体育館	1
教具室	1	プレハブ倉庫	1
放送室	1	プール(大・小)	1
視聴覚室	1		

### 4. 児童数・学級数・家庭数

学 年	1	2	3	4	5	6	特殊	計	
学級数	3	4	4	4	4	4	1	24	
児童数	男	62	76	78	61	89	80	1	447
	女	55	75	70	80	63	76	2	421
	計	117	151	148	141	152	156	3	868
家庭数	57	78	100	111	145	155	3	649	

### 5. 職 員 数

	校 長	教 頭	教 諭	養教 護諭	主 事	理 科 セ ン タ ー	用 務 員	計	学 校 医	薬 劑 師
男	1	1	14			1	2	19	6	1
女			13	1	1	1		16		
計	1	1	27	1	1	2	2	35	6	1

### 6. 職業別保護者数

	農 林	漁 水	鉱 設	建 設	製 造	小 売	金 融	運 通	電 水 ガ	サ ー ビ ス	公 務	そ の 他	計
家庭数	15	1	3	73	277	74	9	50	12	46	48	41	649
%	2.3	0.2	0.5	11.2	42.7	11.4	1.4	7.7	1.8	7.1	7.4	6.3	100

### 7. 昭和58年度学校予算

	金 額	摘 要
市 費 (配当予 算のみ)	5,425,740円	備品費(庁用)1,900,000 修 理 費 228,000 消耗品費 414,000 原 材 料 費 116,800 教育振興費 2,138,340 そ の 他 628,600
P T A	840,063円	専門部活動・学年P T A活動など
後 援 会	2,914,888円	研究・奨学・環境整備・厚生など

## II 教育計画

### 1. 教育目標

「よく考え、強く正しく伸びる子ども」

#### ● 重点目標

- ◎ 進んで勉強する子ども
- ◎ 力を合わせる子ども
- ◎ 体をきたえる子ども

#### ● 学校運営の方針

全児童・職員が、支え合いながら知恵や技を出し合い、相手の立場や考えが尊重し合われる集団作りを意図する。

そのため、計画によって日々指導することが身についていくべく努力する。

1. 多様な方法での学校課題の把握と、とくに「よく見れば、なずな花咲く垣根かな」の気もちで児童理解に努め、それが指導に活かされるよう配慮する。
2. 指導にあたっては好ましい集団作りをめざしながら、目標相互の関係や指導内容・方法等にも意を用いる。
3. 子どもが健全な成長をするためには教育環境が大切であることに着目し、その構成に気を配る。
4. 父母・地域と連絡をとり合い、理解と協力を得て学校生活の充実を図る。
5. 学校は組織活動が重要であることに思いを至し、職員相互の連絡・情報交換に努める。

#### ● 努力事項

- 学年・学級経営の充実を図り、あたたかい人間関係を育て、子ども一人ひとりに自信とやる気をおこさせる。
- 学習意欲を高め、主体的に学習に取りくむよう指導方法の改善を図る。
- 継続的な一貫性のある指導により、規律ある学校生活の実現を図る。
- 学習環境の整備と美化に努め、豊かな心情を培う。
- 地域・父母のいっそうの理解・協力が得られるよう努める。

### 2. 授業日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
授業日数	21	24	26	20	0	24	26	23	21	19	24	20	248
計	91			94			63						

### 3. 年間授業時数

教科・領域	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	272	280	280	280	210	210
社会	68	70	105	105	105	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科	68	70	105	105	105	105
音楽	68	70	70	70	70	70
図工	68	70	70	70	70	70
家庭					70	70
体育	102	105	105	105	105	105
道徳	34	35	35	35	35	35
学級会	34	35	35	35	35	35
クラブ活動				35	35	35
計	850	910	980	1015	1015	1015
学校行事	72	70	71	72	78	88



## 6. 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

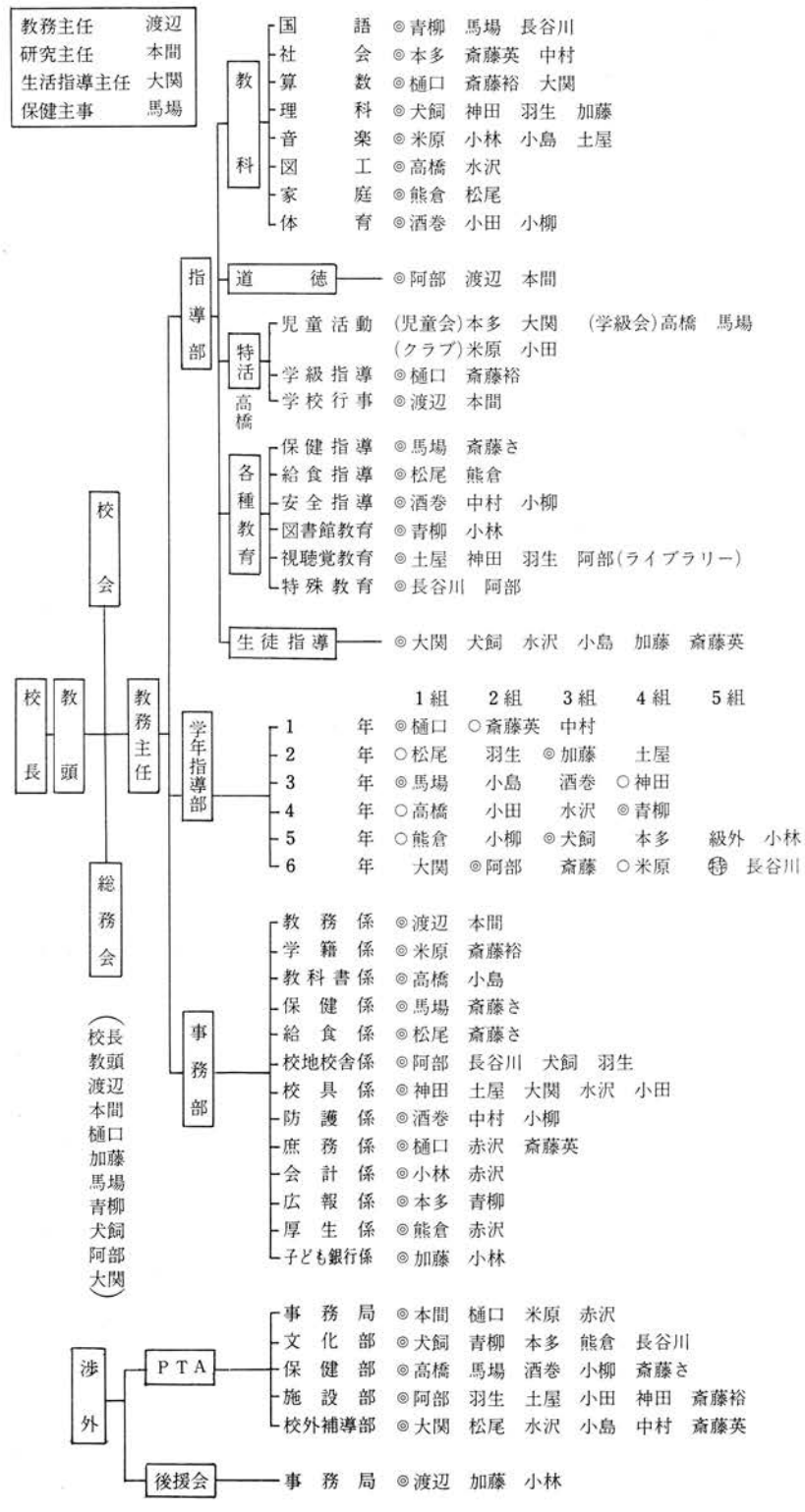
教科	指導の重点	具体的な指導の重点
国語	書くことを通して、文章を正しく豊かに読み深める能力を伸ばす。	(低) ことばを大切にしながら、順序よく読みとらせる。 (中) 段落ごとの要点をおさえながら、文章全体の意味を読みとらせる。 (高) 文章構成を考えさせながら主題や要旨を読みとらせる。
社会	自分なりの問題をもたせ、意見を出し合うことによる見通しをもって解決にあたらせる。	(低) 繰り返し具体的な観察をし、友達といっしょに多様な表現活動をさせることによって社会生活の意味を理解させる。 (中) 身近な社会事象の比較・観察を通して問題をもたせ、協力していろいろな解決方法を工夫・実践させることにより、身近な地域を理解させる。 (高) 自分なりの問題をもたせ、資料をみんなで集め、いろいろな角度から考えることによって解決させる。
算数	日常の事実から問題をつかみ、筋道の通った考え方で、ねばり強く問題を解決していく能力と態度を育てる。	(低) 具体的な作業を通して、数量や図形に関する考えの基礎となるような経験を豊富にもたせる。 (中) 既習経験を生かし、自分なりの考えをもって問題が処理できるようにする。 (高) 根拠を明確にし、より数学的な見方、考え方に立って、問題を処理できるようにする。
理科	自然の事物・現象に親しみ、そこで得た情報を互いに交換し合い、見通しを持って実験・観察をする態度を育てる。	(低) 自然に親しむ楽しい活動の中で、五感をはたらかせて自然をとらえたり発表したりして、いっそう興味関心を持たせる。 (中) 自然の事象にはたらきかける活動の中から得られた情報を互いに交換し合い、工夫して実験・観察をさせる。 (高) 自然の事象を正確に(深く、多面的)とらえる活動から得られた情報を互いに交換し合い、解決の見通しを立てて実験・観察をさせる。
音楽	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的感覚を伸ばし、音楽を愛好する心情を育てる。	(低) 身体表現を通して音楽の楽しさを味わわせる。 (中) 旋律の美しさを感じとらせ、自分達で工夫して演奏する楽しさを味わわせる。 (高) 和声の美しさを感じとらせ、自分達で音楽をつくり上げていくよこびを味わわせる。
図工	造形的な創造活動を通し、表現の喜びを味わわせ、個性的な表現力を育てる。	(低) 感じたことや考えたことをのびのびと表現させ、造形活動の楽しさを味わわせる。 (中) ものの見方や表し方に関心をもたせ、見たことや想像したことを自分なりに表現させる。 (高) ものの見方を深め、主題をきめて構想を練り、技法を工夫して効果的に表現させる。
家庭	家庭生活の中から問題をとらえさせ、よりよい家庭生活をしようとする実践的な態度を育てる。	○ 基本的知識・技能を習得させ、家庭生活に適用する力をつけさせる。 ○ 家庭生活の中からとらえた疑問や問題を既習経験をもとに解決していこうと工夫させる。
体育	運動のめあてをもたせ、進んで練習にとりくむ態度を育てる。	(低) 楽しく力いっぱい運動しようとする態度を育てる。 (中) 技能のポイントや自分のつまずきを手がかりに、めあてを持つてできるようにする。 (高) 見取りや助言を手がかりにして、自分のめあてをよりよいものに改善していけるようにする。
道徳	子どもの心情をたがやし、よりよい生きかたを求めようとする態度を育てる。	(低) 友だちと仲よく生活し、自分のことは自分です。 (中) 正しいことは、はっきり主張し、責任を果たす。 (高) 人の立場を理解し、自律的にして積極的な行動をする。
特別活動	学級会活動	みんなで力を合わせて学級生活をよりよくしようとする実践的な意欲を高める。
	児童会活動	一人ひとりがアイデアを出し合い、協力して実践しようとする態度を育てる。
	クラブ活動	自分たちで計画し、互いに協力して活動させ、仲間意識を育てる。
	学校行事	五泉南小学校の子どもであることの自覚をもたせ、学校行事に積極的に参加する態度を育てる。
学級指導	日常生活における児童の問題を明確に把握し、具体的な活動を通すことによって、学級の好ましい人間関係を育て、学級・学校生活への適応性を高める。	

## Ⅲ 研修計画

- 主 題 子ども同士が支え合い、高まり合う学習集団を作るにはどう指導したらよいか。
- 研究重点教科領域  
理科 体育 特別活動
- 研究内容
  - (1) 支え合い、高まり合う学習集団形成に向かい、授業の改善と、それを支える人間関係の確立を図る。
  - (2) 研究主題でねらう学習集団像に迫るため、学年・学級経営と教科・領域での指導の一体化を図り、実践の中で確かめていく。
  - (3) 学習集団形成に関する調査分析を行ない、授業実践の中に生かしていく。

# IV 校務分掌組織

特設委員会	授業研修協力委員会	◎渡辺	本間	犬飼	小田	馬場
	研究推進委員会	◎本間	犬飼	小田	馬場	渡辺 阿部 酒巻
	教育課程委員会	◎渡辺	本間	土屋	高橋	阿部
	就学指導委員会	◎馬場	齋藤さ	長谷川	加藤	渡辺 本間



# V 職 員 一 覧

No.	職 名	氏 名	担 当	現 住 所	電 話
1	校 長	布 川 賢			
2	教 頭	佐 藤 進	習		
3	教 諭	渡 辺 敏 夫	理科・習		
4	〃	本 間 忠 雄	社・理・図		
5	養 教	齋 藤 さ と			
6	主 事	赤 澤 範 子			
7	教 諭	樋 口 ユ キ	1年1組		
8	〃	齋 藤 英 子	1年2組		
9	〃	中 村 信 郎	1年3組		
10	〃	松 尾 典 子	2年1組		
11	〃	羽 生 泰 彦	2年2組		
12	〃	加 藤 ミサ子	2年3組		
13	〃	土 屋 隆 昌	2年4組		
14	〃	馬 場 高 志	3年1組		
15	〃	小 島 早 苗	3年2組		
16	〃	酒 卷 健 一	3年3組		
17	〃	神 田 直 子	3年4組		
18	〃	高 橋 道 子	4年1組		
19	〃	小 田 淑 和	4年2組		
20	〃	水 澤 誠 一	4年3組		
21	〃	青 柳 敵 識	4年4組		
22	〃	熊 倉 モ ト	5年1組		
23	〃	小 柳 裕	5年2組		
24	〃	犬 飼 哲 夫	5年3組		
25	〃	本 多 英 子	5年4組		
26	〃	小 林 敦 子	5年級外		
27	〃	大 関 徹	6年1組		
28	〃	阿 部 明 夫	6年2組		
29	〃	齋 藤 裕 子	6年3組		
30	〃	米 原 裕 子	6年4組		
31	〃	長谷川 春	5組(特殊)		
32	〃	細 川 勤	理科センター		
33	主 査	波多野 玲	〃		
34	校 医	廣 瀬 洋 一	内 科		
35	〃	近 藤 道 隆	〃		
36	〃	川 上 清 治	眼 科		
37	〃	河 辺 徹 夫	耳 鼻 科		
38	〃	関 川 嘉治郎	歯 科		
39	〃	金 丸 巧	〃		
40	薬劑師	岡 多可志			
41	用務員	川 瀬 清三郎			
42	〃	長谷川 末 松			